

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年9月30日(2022.9.30)

【公開番号】特開2021-83710(P2021-83710A)

【公開日】令和3年6月3日(2021.6.3)

【年通号数】公開・登録公報2021-025

【出願番号】特願2019-214925(P2019-214925)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和4年9月21日(2022.9.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

特定演出識別情報を含む複数種類の演出識別情報の可変表示を行って表示結果を導出表示し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

演出識別情報の可変表示を開始してから表示結果を導出表示するまでの間において前記特定演出識別情報を一旦仮停止させた後に可変表示を再開する特定演出を実行する特定演出実行手段と、

前記特定演出識別情報の仮停止を示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、

前記特定演出識別情報の仮停止を報知する報知演出を実行可能な報知演出実行手段と、

前記報知演出の実行後に特別演出を実行可能な特別演出実行手段と、を備え、

前記示唆演出実行手段は、前記特定演出識別情報および該特定演出識別情報とは異なる演出識別情報を、効果表示により視認性が低い第1状態とした後に該第1状態よりも更に視認性が低い第2状態とする演出を、前記示唆演出として実行可能であり、

前記報知演出実行手段は、前記特定演出識別情報とは異なる演出識別情報を視認不能とする演出を、前記報知演出として実行可能であり、

前記特別演出実行手段は、可変表示の再開に対応した表示を表示する演出を、前記特別演出として実行可能であり、

前記効果表示の表示領域は、前記第1状態であるときよりも前記第2状態であるときの方が大きい、遊技機。

【請求項2】

複数種類の演出識別情報の可変表示を行って表示結果を導出表示し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

演出識別情報の可変表示を開始してから表示結果を導出表示するまでの間において前記演出識別情報とは異なる特殊識別情報を一旦仮停止させた後に可変表示を再開させる特定演出を実行する特定演出実行手段と、

前記特殊識別情報の仮停止を示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、

前記特殊識別情報の仮停止を報知する報知演出を実行可能な報知演出実行手段と、

前記報知演出の実行後に特別演出を実行可能な特別演出実行手段と、を備え、

前記示唆演出実行手段は、前記特殊識別情報および前記演出識別情報を、効果表示により視認性が低い第1状態とした後に該第1状態よりも更に視認性が低い第2状態とする演

40

50

出を、前記示唆演出として実行可能であり、

前記報知演出実行手段は、前記演出識別情報を視認不能とする演出を、前記報知演出として実行可能であり、

前記特別演出実行手段は、可変表示の再開に対応した表示を表示する演出を、前記特別演出として実行可能であり、

前記効果表示の表示領域は、前記第1状態であるときよりも前記第2状態であるときの方が大きい、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

手段1の遊技機は、

特定演出識別情報を含む複数種類の演出識別情報の可変表示を行って表示結果を導出表示し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

演出識別情報の可変表示を開始してから表示結果を導出表示するまでの間において前記特定演出識別情報を一旦仮停止させた後に可変表示を再開する特定演出を実行する特定演出実行手段と、

前記特定演出識別情報の仮停止を示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、

前記特定演出識別情報の仮停止を報知する報知演出を実行可能な報知演出実行手段と、

前記報知演出の実行後に特別演出を実行可能な特別演出実行手段と、を備え、

前記示唆演出実行手段は、前記特定演出識別情報および該特定演出識別情報とは異なる演出識別情報を、効果表示により視認性が低い第1状態とした後に該第1状態よりも更に視認性が低い第2状態とする演出を、前記示唆演出として実行可能であり、

前記報知演出実行手段は、前記特定演出識別情報とは異なる演出識別情報を視認不能とする演出を、前記報知演出として実行可能であり、

前記特別演出実行手段は、可変表示の再開に対応した表示を表示する演出を、前記特別演出として実行可能であり、

前記効果表示の表示領域は、前記第1状態であるときよりも前記第2状態であるときの方が大きい、ことを特徴としている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

手段2の遊技機は、

複数種類の演出識別情報の可変表示を行って表示結果を導出表示し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

演出識別情報の可変表示を開始してから表示結果を導出表示するまでの間において前記演出識別情報とは異なる特殊識別情報を一旦仮停止させた後に可変表示を再開させる特定演出を実行する特定演出実行手段と、

前記特殊識別情報の仮停止を示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、

前記特殊識別情報の仮停止を報知する報知演出を実行可能な報知演出実行手段と、

前記報知演出の実行後に特別演出を実行可能な特別演出実行手段と、を備え、

前記示唆演出実行手段は、前記特殊識別情報および前記演出識別情報を、効果表示により視認性が低い第1状態とした後に該第1状態よりも更に視認性が低い第2状態とする演出を、前記示唆演出として実行可能であり、

前記報知演出実行手段は、前記演出識別情報を視認不能とする演出を、前記報知演出と

40

50

して実行可能であり、

前記特別演出実行手段は、可変表示の再開に対応した表示を表示する演出を、前記特別演出として実行可能であり、

前記効果表示の表示領域は、前記第1状態であるときよりも前記第2状態であるときの方が大きい、ことを特徴としている。

10

20

30

40

50